

一般財団法人
飛騨高山大学連携センター

平成31年度(令和元年度) 活動報告書

自治体シンクタンク事業 / 大学コミッション事業

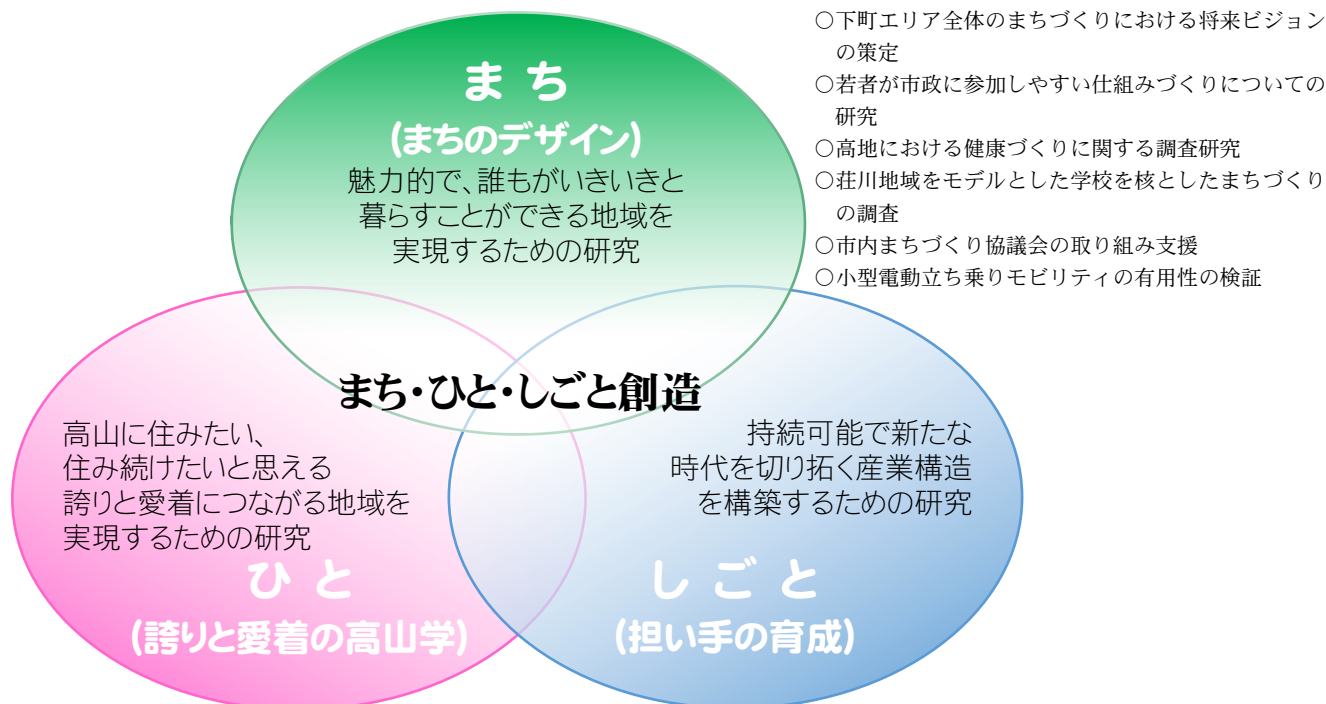
Hida-takayama
Research Center of
Regional Revitalization

自治体シンクタンク事業

目的:大学の保有する高度で専門的な知見と連携して、高山市の抱える問題や課題の解消。
地方創生を担う人材の育成・確保などを推進。

- 高山市の各種統計データや様々な意向調査結果などの情報を収集・分析
- 行政、まち協、民間団体などの個々では対応が難しい課題や計画、事業化などに対して、大学の知見を活用して対応
- 都市計画、地域政策・経済、コミュニティ計画などと「まちづくり」を研究している大学生、院生のインターンシップの受け入れ

調査・研究の3つの柱



まち／まちのデザイン

- 下町エリア全体のまちづくりにおける将来ビジョンの策定
- 若者が市政に参加しやすい仕組みづくりについての研究
- 高地における健康づくりに関する調査研究
- 荘川地域をモデルとした学校を核としたまちづくりの調査
- 市内まちづくり協議会の取り組み支援
- 小型電動立ち乗りモビリティの有用性の検証

ひと／誇りと愛着の高山学

- 小中高大連携促進事業
 - ・SGH 県指定校 斐太高等学校の調査・研究の指導
 - ・荘川中学校における芸大生による演技指導
 - ・イングリッシュシャワーin乗鞍の開催
 - ・新宮小学校との連携事業

しごと／担い手の育成

- 職業人材に結び付く担い手育成の仕組みづくり
- 事業承継に向けた実証実験及び委員会の設立

まち・ひと・しごと を包括した事業

- 飛騨高山学会
- 久々野地域と多摩大学の連携事業

○下町エリアの活性化に向けた「下町まちづくりの考え方」の策定

平成29年度からの継続事業。平成30年度に作成した「まちのカルテ」を参考に33個のアイデアカードを作成し、地域住民等の投票を実施。

また、下町エリアの将来像についての地域住民ヒアリングや、地域住民・企業・行政・他地域の市民・大学生をメンバーとしたワークショップを実施。まちづくり活動に関する意見交換や提案発表を行った。

- ・大学生による地域住民ヒアリング3日間
- ・市民と大学生のワークショップ3回
- ・関係町内会へのまちづくり通信発行・回覧4回

関係大学 横浜国立大学、東京工業大学
※高山市企画課委託事業



○高地における健康づくりに向けた実証実験

前々年度からの継続事業。標高(1000~1400m程度)が健康に与える影響を科学的に検証するため、平地(標高0m~100m程度)に居住している男女14人をサンプルとして、高地と平地におけるウォーキング時の心拍数、酸素飽和度などの測定や心理的なアンケートを合わせて実施。この結果を用いて、今後標高を活かした健康づくりの手法(ヘルスツーリズムの造成、ヘルシーメニューの開発など)を検討する。

- ・ウォーキング調査2回(高根、関ヶ原)
- ・ヘルスツーリズム造成の検討に伴う現地調査1回
- ・報告書提出 ※新型コロナウイルス感染防止対策の為報告会2回は中止

関係大学 岐阜協立大学

※飛騨高山大学連携センター自主事業



○若者が市政に参加しやすい仕組みづくり

積極的にまちづくり活動を行っている団体関係者や若者を対象としたヒアリングを実施し、まちづくり活動を始めたきっかけや若者がまちづくりに参加しやすい環境などを調査。また、他市町村における先進事例を踏まえ、高山市への導入について検討を行い、高山市における若者の市政参加促進手法の提案を行った。

- ・大学生による若者等ヒアリング2日間
- ・若者等と大学生のワークショップ2回
- ・若者等を対象としたアンケート

関係大学 愛知大学

※高山市企画課委託事業



○荘川地域をモデルとしたまちづくりの調査

荘川地域をモデルとした保・小・中一貫教育の優位性や学校を核とした地域づくりの現状を明らかにするとともに、他地域への波及の方法についての調査を行った。

関係大学 中部学院大学

※高山市企画課委託事業

○市内まちづくり協議会の取り組み支援

一之宮町まちづくり協議会主催「まちづくり勉強会」や、朝日まちづくり協議会主催「朝日ガヤガヤ会議」への支援を実施。

各地域のこれまでの取組みの検証や、今後の取組みの検討や計画づくりなどについての講演やグループワークが円滑に進められるようコーディネートなどを行った。

※一之宮まちづくり協議会事業

※朝日まちづくり協議会事業

※飛騨高山大学連携センター自主事業



○小型電動立ち乗りモビリティ(フロント2輪)の有用性の検証

地方における二次交通の補完や観光ガイドツアーでの利用等の可能性を検証するため、ヤマハ発動機㈱が開発したフロント2輪の小型電動立ち乗りモビリティ「TRITOWN(トリタウン)」を用いて公道を使った実証実験を行った。※同車両では初の公道実証実験。

実証実験は、一般市民等を対象にインストラクター先導のもと体験走行を行うとともに、公道走行による実環境との親和性や観光産業への有用性を検証した。

- ・公道走行実証実験運営協議会の設立および協議会開催
- ・試乗会1日
- ・試験走行および公道実証実験3日(一般参加者39人)

関係大学 東京都市大学

※高山市、ヤマハ発動機㈱および飛騨高山大学連携センター共同事業



○小中高大連携促進事業

(斐太高等学校 SGH への指導)

前々年度からの継続事業。岐阜県からSGH(スーパー・グローバル・ハイスクール)の指定を受けた県立斐太高等学校の二年生全員276人に対し調査・研究の指導や大学・地域キーパーソンへの取り次ぎ支援等を実施した。

- ・講演会1回
- ・相談会5回(相談窓口常時開設)
- ・中間発表会審査、指導
- ・最終発表会審査、講評

関係大学 岐阜協立大学、岐阜大学

※県立斐太高等学校事業

※飛騨高山大学連携センター自主事業



(荘川中学校における芸大生による演技指導)

およそ300年の歴史を有する伝統文化「村芝居(奉納芝居)」が行われている荘川地域で、ミュージカルを専門に学んでいる芸大生が中学生に対し、地域の文化祭で行う演劇の実技指導を行うとともに、中学生と大学生の交流を促進した。

- ・演技指導1回
- ・中学生と大学生の交流会1回

関係大学 名古屋芸術大学

※市立荘川中学校事業

※飛騨高山大学連携センター自主事業



(イングリッシュシャワーin乗鞍の支援)

中学生に教室外でのALT(外国語指導助手)および大学生とのコミュニケーションの場を設定し、英語を「聞く・話す」必然性のある場面を通して、英語力の向上とコミュニケーションを楽しむ体験をさせた。

関係大学 中部学院大学

※高山市教育委員会主催

※飛騨高山大学連携センター自主事業

○小中高大連携促進事業

(新宮小学校との連携)

新宮小学校放課後児童クラブ（学童保育）利用児童と大学生との交流事業を実施した。夏休み期間中に各種活動を通じ、交流を深めることにより、児童に対して貴重な体験の場を提供するとともに、大学生には学童保育の現場体験や児童とのふれあいを通じたキャリア教育の場を提供した。

関係大学 中部学院大学、岐阜大学

※新宮地区まちづくり協議会事業

※飛騨高山大学連携センター自主事業

○高山市の担い手育成の仕組みづくり

平成30年度からの継続事業。大学進学による若者の域外流出という地域課題に対し、高山市へのU I Jターンを促進し将来的な職業人材を確保することを目的に、高校卒業までのキャリア教育のあり方、地元企業におけるインターンシップの仕組みづくりに係る調査研究を実施した。

- ・Uターン者及び非Uターン者を対象としたアンケート調査の実施（斐太高等学校S G Hとの共同研究）
- ・インターンシップ先進事例調査（石川県）

関係大学 岐阜協立大学（北九州市立大学）

高山市企画課委託事業

○事業承継に向けた委員会の設立及び実証実験

高山市の事業承継を推進するため、商工会議所、商工会、金融機関等の各支援機関で構成する「高山市事業承継推進委員会」を設立し、後継者のいない小規模な事業所を支援対象として、事業承継相談を啓発する取り組みの他、事業承継推進に係る施策について検討を行った。

- ・事業承継推進委員会の開催（計3回）
- ・広報たかやまへの相談啓発記事掲載（計7回）
- ・推進委員によるヒッツFM「市役所からこんにちは」出演による啓発活動の実施（1回）
- ・高山市商工課に月に1度の個別相談窓口を設置
- ・親族外承継事例のヒアリング調査及び当調査に基づく事業承継事例集の作成

関係大学 多摩大学、法政大学

※高山市商工課委託事業



自治体シンクタンク事業 「まち・ひと・しごと」包括事業

○第一回 ～繋がるキャンパス～ 飛騨高山学会の開催

「地域住民や小中高生が大学や大学生と繋がる」など様々な「繋がる」をコンセプトとして、高山市など飛騨地域において調査研究を実施した大学関係者が一堂に会し、その調査研究の発表を行った。

参加者 約250人

発表者 東京大学、慶應義塾大学、岐阜大学、東京都市大学、多摩大学、昭和女子大学、目白大学、岐阜協立大学、中部大学、日本福祉大学
斐太高等学校、高山西高等学校

大学アーク 愛知大学、岐阜大学、高山自動車短期大学、中部大学、日本福祉大学、賛同企業

展示販売、テラウトキヤンパ 飛騨高山高等学校、高山工業高等学校
※高山市企画課委託事業



○久々野地域と多摩大学の連携事業

前々年度からの継続事業。地域(まちづくり協議会)と大学による自主事業として実施したものを支援。

①地域×大学連携事業

- ・よそ者、若者目線で見ると地域資源や魅力の再発見、活用方法の提案（商品開発）
- ・地域資源や魅力について地域住民との意見交換

【成果】昨年度学生が提案した「りんごの朴葉みそ」を道の駅が商品化

②中学校×大学連携事業

- ・地域の魅力に関するグループワーク
- ・特産品リンゴジュースのPR方法に関するグループワーク

③企業×大学連携事業

- ・地元企業のSDGsに関する取り組みのヒアリングや取り組みの体験作業など
- ・地元企業の取り組み事例を市民に発表

④その他

- ・地域住民宅における学生のホームステイによる受入れ
- ・多摩大学祭における特産品販売、連携事業PR実施

関係大学 多摩大学

※久々野まちづくり運営委員会、多摩大学連携事業

※飛騨高山大学連携センター自主事業



大学コミッション事業

目的:ゼミ合宿、フィールド調査、各種研究などの大学活動を誘致し、多くの大学・大学生が活動する飛騨高山を確立。

○高山市における大学活動の支援

- ・ゼミ合宿等に活用できる補助制度のご案内
- ・企業や団体、地域のキーパーソンの紹介
- ・サテライトキャンパスの斡旋、紹介
- ・その他相談などのワンストップ窓口など
- ・調査、研究などに必要な高山市の資料提供
- ・アンケート等調査に伴う施設使用手続きの代行
- ・宿泊施設などの情報提供

年 度	平成 29 年度 設立日 6/29 ~ 3/31	平成 30 年度	平成 31 年度
来 訪 者	1,161 人	1,472 人	1,997 人
来訪大学	33 大学	33 大学	35 大学



大学コミッション受入実績（主なもの）

時 期	大 学 名	内 容	日 数	人 数
5 月	京都文教大学	ゼミ合宿（観光）	4	21
6 月～7 月	多摩大学、帝塚山大学 埼玉学園大学 合同	アクティブラーニング・プログラム（SDGs）	3	44
7 月～8 月	名古屋外国語大学	ゼミ合宿（インバウンド観光）	3	12
8 月	名城大学	ゼミ合宿（インバウンド観光）	3	14
	岐阜大学、中部学院大学 中部大学、日本福祉大学 名古屋学院大学 合同	サマースクール（COC+事業）	3	26
	東京都市大学 目白大学 合同	ゼミ合宿（ユニバーサルデザイン、子育て）	3	40
9 月	昭和女子大学	ゼミ合宿（地方創生）	3	13
	東京都市大学	ゼミ合宿（まちづくり、防災）	3	16
	法政大学	ゼミ合宿（社会）	3	40
	中部大学	ゼミ合宿（食）	1	16
	立教大学	ゼミ合宿（観光）	4	46
	名古屋短期大学	ゼミ合宿（観光）	2	16
	愛知学院大学	ゼミ合宿（行政）	2	13
10 月	岐阜大学ほか	アジアフラックス学会（国際会議）	3	200
	多摩大学	アクティブラーニング・プログラム（地域経済）	3	19
	中部学院大学	新入留学生遠足	1	69
1 月	松本大学	ゼミ合宿（インバウンド観光）	1	8
2 月	名古屋学院大学	インターンシップ報告会	1	4

※新型コロナウイルス感染防止対策の為、3月に予定していた佛教大学活動の受入れは延期

その他の事業

○SDGs 講演会の開催 ～SDGsってなに？～

SDGs は持続可能な世界を実現するための 2016 年～2030 年までの国際目標（国連サミットで採択）であるが、高山市においての認知度はまだ低い状況であることから、一般市民や地元企業を対象とした講演会及び講師 2 名と地元企業代表者 2 名によるパネルディスカッションを開催した。

講演会等を通して市民と学生と一緒に SDGs を学び、新たな企業活動やより良い生活に繋がる事例等を紹介した。

参加者 約 120 人

関係大学 多摩大学、帝塚山大学、埼玉学園大学
※多摩大学アキブレニング・プログラム事業
※飛騨高山大学連携センター共催事業



○サマースクールへの支援

サマースクール（COC+事業）は、岐阜県における若者の地元定着率を上げることを目的とし、県内企業と大学生との接点を増やす企画や産業界ニーズにより適合した人材を育成する大学間共通プログラムとして毎年実施している。

令和元年度は、高山市を含む飛騨圏域が実施場所であったことからその活動を支援した。

また、大学生と行政関係者や観光関連団体、企業との意見交換の場を設けた。

関係大学 岐阜大学、中部大学、中部学院大学、名古屋学院大学、日本福祉大学

※大学間連携事業

※飛騨高山大学連携センター自主事業



○ホームページやSNS等を活用した情報発信

ホームページ、Facebook を活用した当センターの活動報告やゼミ合宿等で来訪された大学の活動状況などを広くPRした。

また、高山市主催のまちづくりフォーラムにて事例発表やパネル展示も実施した。

更には、来館される市民等へ様々な大学の情報を提供するため、当センター事務所に大学関係パンフレット等を設置した。

パンフレット設置大学 61 大学



一般財団法人

飛騨高山大学連携センター



Hida-takayama
Research Center of
Regional Revitalization

一般財団法人 飛騨高山大学連携センター

高山市千島町 900 番地 1（飛騨世界生活文化センター内）

TEL 0577-57-5366 / FAX 0577-57-5377

HP <https://www.renkei-center.jp/>

facebook <https://www.facebook.com/ht.renkeicenter/>

一般財団法人飛騨高山大学連携センター



活動状況を公開中